

# 図書館員が選ぶ この一冊

34

『緑衣の女』 東京創元社

アーナルデュル・インドリダソン／著 柳沢由美子／訳

本作は、アイスランドの犯罪捜査官エーレンデュルを主人公とするシリーズ2作目である。建設現場で古い人骨が見つかり、警察の捜査が始まる。並行して、すさまじい家庭内暴力にさらされた家族の話、主人公の過去が語られていく。謎の緑衣の女が現れたことをきっかけに、バラバラに見えた話が殺人事件の背景解明へと動き出す。



訳者も困惑したほどの暴力描写があるが、著者は「暴力を憎む、もっとも忌まわしく卑劣で絶対にあってはならない」と後書きで語る。問題を隠さず真実を明るみにすることが作家の使命であるという姿勢が多くファンを引きつけるのだと感じた。